

科目名	刑事司法と外国人				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	秋学期	開講学部等	法学部	配当年次	2 年次
教員名	成田 秀樹			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

外国人犯罪に係わる職務に対応しうる能力を身に着けたい学生に対し、刑事司法に関する基礎知識を受けることを目的とする。すなわち、外国人の出入国及び犯罪の動向を踏まえ、基本的人権保障に配慮しながら、捜査・勾留・公判・矯正・更生保護など刑事司法の手続や処遇の基本的知識を受けることとする。その際刑事司法の専門用語の理解を促すために、具体的ケースを素材として具体的場面での実践例を示し、実務に即応できる能力の養成を主眼とした講義展開に留意する。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
オンデマンド授業は、moodleで行う。内容に関する質問は、メールで受け付ける。
- ・ その他
欠席時の授業に関する質問、指導は、オフィスアワーで対応する。
オフィスアワー 毎週火曜 12:00～13:00

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 ガイダンス

授業の目的と関連科目について

刑法、刑事訴訟法、社会安全政策と外国人の犯罪、外国人の被害者対策との関係
履修上の注意事項、評価の基準等

第2回 刑事手続の概要

第3回～第7回警察による外国人犯罪の捜査

- 1) 外国人犯罪者にかかわる取締法規（入管法、関税法など）の概要
- 2) 外国人犯罪の罪名別実態の動向
- 3) 外国人犯罪の捜査の実態と問題点 (1) 概観
- 4) 外国人犯罪の捜査の実態と問題点 (2) とくに取調べについて
- 5) 外国人と被害者対策

第8回検察官による外国人犯罪の捜査と訴追

第9回捜査段階での外国人被疑者の弁護

（捜索・押収、逮捕・勾留、取調べ、接見交通、被害者対応など）

第10回 刑事手続きと行政手続き（入管法等）との関係

第11回～第14回外国人事件の公判

- 1) 公判の流れ、公判前整理手続、冒頭手続（起訴状等の翻訳も含む）
- 2) 証拠調べ（冒頭陳述・証拠等関係カードなどの翻訳、外国人証人の場合も含む）
- 3) 論告・弁論、判決

★オンデマンド授業

まとめ（90分を予定）
（事前・事後学習なし）

事前・事後学修／Preparation and assignments

時間外学修（事前学習）

毎回、90分の予習を予定している。

時間外学修（事後学習）

毎回、90分の復習を予定している。

第1回 ガイダンス

事前学習

刑法、刑事訴訟法、社会安全政策と外国人の犯罪、外国人の被害者対策に関する資料をmoodleに掲載するので、

それを読み、質問事項を準備する。

シラバスを読み、受講の基本方針を理解し、質問事項を準備する。

事後学習

刑法、刑事訴訟法、社会安全政策と外国人の犯罪、外国人の被害者対策との関係に関するレポートの作成と提出

第2回 刑事手続の概要

事前学習

刑事手続の概要に関する資料をmoodle上に掲載するので、それを読み、質問事項を準備する。

事後学習

刑事手続の概要に関するレポートを作成し、提出する。

第3回～第7回警察による外国人犯罪の捜査

- 1) 外国人犯罪者にかかわる取締法規（入管法、関税法など）の概要
- 2) 外国人犯罪の罪名別実態の動向
- 3) 外国人犯罪の捜査の実態と問題点 (1) 概観
- 4) 外国人犯罪の捜査の実態と問題点 (2) とくに取調べについて
- 5) 外国人と被害者対策

第8回検察官による外国人犯罪の捜査と訴追

第9回捜査段階での外国人被疑者の弁護

（捜索・押収、逮捕・勾留、取調べ、接見交通、被害者対応など）

第10回 刑事手続きと行政手続き（入管法等）との関係

第11回～第14回外国人事件の公判

- 1) 公判の流れ、公判前整理手続、冒頭手続（起訴状等の翻訳も含む）
- 2) 証拠調べ（冒頭陳述・証拠等関係カードなどの翻訳、外国人証人の場合も含む）
- 3) 論告・弁論、判決

第3回～第14回

事前学習

moodleに掲載された資料を読み、質問事項を準備

事後学習

各テーマに関するレポート作成と提出

オンデマンド授業

まとめ

学期末レポートの作成と提出 180分の学習を予定している

時間外学修（事前学習＋事後学習＋学期末レポートの作成）の合計は、2700分を予定している。

授業の到達目標／Expected outcome

外国人犯罪に係わる職務に対応しうる能力を身に着けるための刑事司法に関する基礎的事項を説明できる。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・ 主体性
- ・ 専門知識・専門技能
 - 【法学部 法律学科】
 - ・ 法律学・政治学の基礎知識
 - 【法学部 法政策学科】
 - ・ 法律学・政治学・政策学の基礎知識

履修上の注意／Special notes, cautions

第1回の授業で、遵守事項の説明をするので、よく理解したうえで授業を受講すること。

第2回～第12回の授業は外部講師の派遣を予定しているため、変更されることがある。

ゲストスピーカーによる講義の後、質疑応答の時間を設ける。積極的に質疑応答への参加を期待する。

評価方法／Evaluation

平常点 30%

レポート 70%

教 材／Text and materials

授業毎に配布する。

質問や相談の方法／Instructor contact

オフィスアワー

毎週火曜日 12 : 30～13 : 00 法学部履修相談室

その他／Others

ゲストスピーカーの講義に関する注意事項は、第1回授業で行う。必ず出席し、注意事項を必ず遵守すること。